

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社
コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名)加賀谷 卓
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名)真下 徹 TEL 03-3448-7000
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	110,769	3.1	4,651	30.6	5,237	23.2	3,234	20.1
2023年3月期第1四半期	107,466	△10.6	3,560	△57.3	4,252	△52.8	2,692	△54.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,913百万円 (57.8%) 2023年3月期第1四半期 3,114百万円 (△45.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	26.80	26.78
2023年3月期第1四半期	22.03	22.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	467,199	344,674	72.6
2023年3月期	502,133	346,725	67.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 339,007百万円 2023年3月期 341,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	50.00	—	55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	1.2	34,000	5.9	34,500	11.5	23,000	18.9	190.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	133,000,000株	2023年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	12,557,722株	2023年3月期	20,221,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	120,677,824株	2023年3月期1Q	122,252,310株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、社会経済活動が正常化に向かう中、景気の緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、エネルギー価格及び原材料価格の高騰、また、金融資本市場の変動等に引き続き注視する必要があります。

コムシスグループを取り巻く事業環境につきましては、通信インフラ分野においては、デジタル田園都市国家構想の推進において、地域のデジタル化を加速させるため、光ファイバ及び5Gの整備による固定ブロードバンド未整備地域の解消、データセンターの分散立地などのデジタルインフラ整備の取り組みが進められております。社会インフラ分野においては、激甚化・頻発化する自然災害、インフラ老朽化に対応した防災・減災、国土強靭化施策の推進、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギー分野へのGX成長投資が期待されており、近年、広域的・戦略的なマネジメントにより、複合化・多機能化・効果最大化をはじめとする国土基盤の高質化を図ることが求められております。ITソリューション分野においては、デジタル技術による地方の課題解決に向けて、行政・公共・医療・介護等複数の分野においてデータを共有及び活用できるデータ連携基盤の整備などDX化が進められております。

コムシスグループといたしましては、通信インフラ分野においては、モバイル関連工事が減少するなど厳しい事業環境の中、グループリソースの有効活用によるシェア拡大及び周辺ビジネスの獲得、コムシスグループ全体最適化を目指したエリアマネジメント体制の強化、複合技術者育成による事業領域拡大など利益確保に努めてまいりました。ITソリューション・社会システムの成長分野においては、バーチャルカンパニーを活用した営業強化及びアライアンスパートナー連携による受注拡大、大型プロジェクトを中心にリスク管理を含めたプロジェクトマネジメント強化に取り組んでまいりました。今後とも、DXを活用した生産性向上、多様で柔軟な働き方改革の深化、新たな事業環境に対応した人材育成など、引き続きコムシスグループの経営基盤強化を図ってまいります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高153,809百万円（前年同期比13.8%増）、売上高110,769百万円（前年同期比3.1%増）となりました。また、損益につきましては、営業利益4,651百万円（前年同期比30.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益3,234百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益又は損失〔営業利益又は損失〕】

(単位：百万円)

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 又は損失(△) 〔営業利益又は損失(△)〕	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	74,065	27.4%	46,950	3.1%	1,383	350.1%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	15,838	4.8%	13,098	△4.1%	820	△32.5%
TOSYSグループ	8,072	△18.3%	6,949	9.0%	154	72.4%
つうけんグループ	17,043	3.2%	12,455	9.8%	721	12.4%
NDSグループ	22,583	8.3%	18,199	△0.2%	863	△5.8%
SYSKENグループ	7,935	11.0%	6,354	11.7%	△70	—
北陸電話工事グループ	4,019	8.7%	3,260	△6.2%	141	—
コムシス情報システムグループ	3,763	14.0%	3,014	12.9%	360	24.9%

(注) 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ34,933百万円減少し467,199百万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ32,882百万円減少し122,524百万円となっております。

また、純資産は、利益剰余金の配当等により前連結会計年度末に比べ2,051百万円減少し、344,674百万円となりました。

この結果、自己資本比率は72.6%（前連結会計年度末は67.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月11日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	41,367	67,655
受取手形・完成工事未収入金等	187,954	110,646
未成工事支出金等	51,992	65,173
その他の棚卸資産	5,598	5,978
その他	18,362	21,152
貸倒引当金	△1,291	△1,277
流動資産合計	303,983	269,328
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	44,498	44,624
土地	70,084	69,824
その他（純額）	28,654	28,429
有形固定資産合計	143,236	142,878
無形固定資産		
のれん	1,648	1,374
その他	5,089	5,030
無形固定資産合計	6,737	6,404
投資その他の資産		
投資有価証券	25,454	27,714
その他	25,530	23,695
貸倒引当金	△2,809	△2,821
投資その他の資産合計	48,175	48,587
固定資産合計	198,149	197,871
資産合計	502,133	467,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	82,842	59,781
短期借入金	3,950	3,823
未払法人税等	5,075	1,150
未成工事受入金	7,771	11,106
引当金	6,061	921
その他	28,745	24,570
流動負債合計	134,446	101,353
固定負債		
長期借入金	179	149
再評価に係る繰延税金負債	1,213	1,213
退職給付に係る負債	14,151	14,047
役員退職慰労引当金	616	512
環境対策引当金	400	400
その他	4,399	4,848
固定負債合計	20,961	21,171
負債合計	155,407	122,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	93,113	75,163
利益剰余金	286,284	283,249
自己株式	△45,318	△28,313
株主資本合計	344,079	340,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,722	5,286
繰延ヘッジ損益	△78	4
土地再評価差額金	△8,250	△8,019
退職給付に係る調整累計額	1,620	1,635
その他の包括利益累計額合計	△2,985	△1,092
新株予約権	939	972
非支配株主持分	4,692	4,694
純資産合計	346,725	344,674
負債純資産合計	502,133	467,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	107,466	110,769
売上原価	94,678	96,871
売上総利益	12,788	13,898
販売費及び一般管理費	9,228	9,247
営業利益	3,560	4,651
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	532	450
固定資産賃貸料	77	73
その他	181	137
営業外収益合計	796	666
営業外費用		
支払利息	8	4
賃貸費用	31	20
遊休資産費用	17	19
その他	47	34
営業外費用合計	104	79
経常利益	4,252	5,237
特別利益		
固定資産売却益	10	19
投資有価証券売却益	18	6
関係会社株式売却益	218	—
その他	37	5
特別利益合計	285	32
特別損失		
固定資産除却損	15	15
特別退職金	40	102
事業構造改革費用	51	13
その他	30	4
特別損失合計	137	136
税金等調整前四半期純利益	4,400	5,133
法人税等	1,737	1,890
四半期純利益	2,663	3,243
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,692	3,234

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,663	3,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	1,571
繰延ヘッジ損益	28	83
退職給付に係る調整額	△5	15
その他の包括利益合計	451	1,670
四半期包括利益	3,114	4,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,147	4,897
非支配株主に係る四半期包括利益	△33	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末より17,005百万円減少し、28,313百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

① 自己株式の取得

当社は2023年5月11日開催の取締役会の決議に基づき、2023年5月12日から2023年6月30日までの期間に自己株式358千株を取得しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が999百万円増加しております。

② 自己株式の消却

当社は2023年5月11日開催の取締役会の決議に基づき、2023年5月31日付で自己株式8,000千株を消却しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ17,956百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。